



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

- 1.1. 製品名 : ガードホープ液剤 (ホスチアゼート液剤)
1.2. 用途 : 殺線虫剤
1.3. 会社情報 : 会社名 石原産業株式会社
住所 大阪市西区江戸堀 1 丁目 3 番 15 号
担当部門 三重県四日市市石原町 1 番地
石原産業株式会社環境・安全衛生統括部
電話: 059-345-6205 FAX: 059-345-6206
1.4. 緊急連絡先 : 石原産業株式会社 バイオサイエンス営業本部 生産技術部技術開発グループ
電話: 059-345-6118 FAX: 059-345-6180
1.5. 作成日 : 2008 年 9 月 4 日
改訂日 : 2014 年 10 月 20 日⑥

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ先 : 石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)

2. 危険有害性の要約

2.1. GHS 分類

物理化学的危険性:

爆発物	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分 4
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分 3
急性毒性(経皮)	区分 4
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類対象外
急性毒性(吸入:ミスト)	区分 4
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1B
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1(神経系, 全身性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1(神経系, 副腎, 血液)
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性:	
水生環境有害性(急性)	区分 2
水生環境有害性(長期間)	区分 1
オゾン層有害性	分類できない

2.2. ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

H227	可燃性液体
H301	飲み込むと有毒
H312 + H332	皮膚に接触するまたは吸入すると有害
H320	眼刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H361	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
H370	神経系または全身性の障害
H372	長期にわたる、または反復ばく露による神経系、副腎または血液の障害
H401	水生生物に毒性
H410	長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

【安全対策】

安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。

P210	熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。 禁煙。
P280	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P264	取扱い後は手をよく洗うこと。
P270	この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
P271	屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260	ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P273	環境への放出を避けること。

【応急措置】

応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。

P370 + P378	火災の場合: 消火するために粉末, 炭酸ガス, 泡消火剤を使用すること。
P301 + P310	飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。
P321	特別な処置が必要である。(このラベルの「4. 応急措置」を参照)
P330	口をすすぐこと。
P302 + P352	皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。

- P312 気分が悪い時は医師に連絡すること。
 P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 P333 + P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診察／手当を受けること。
 P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当を受けること。
 P308 + P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当を受けること。
 P308 + P311 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 P314 気分が悪い時は、医師の診察／手当を受けること。
 P391 漏出物を回収すること。

【保管】

保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

P403 換気のよい場所で保管すること。

P405 施錠して保管すること。

【廃棄】

廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。

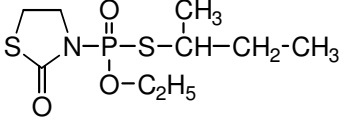
P501 内容物／容器を国／都道府県／市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

2.3. その他の危険有害性： 特になし

3. 組成及び成分情報

3.1. 化学物質・混合物の区分： 混合物

3.2. 成分

一般名	ホスチアゼート	有機溶剤, 界面活性剤等	
化学名	(RS)-S-sec-ブチル=O-エチル=2-オキシ-1,3-チアゾリジン-3-イルホスホノチオアート	メタノール	界面活性剤等
構造式		CH ₃ OH	ノウハウのため非公開
含有率	30.0%	0.1%以下	69.9~70.0%
官報公示整理番号 化審法	農薬取締法により 規制される物質	(2)-201	全成分登録保証
官報公示整理番号 安衛法	8-(7)-864	公表	全成分登録保証
CAS No.	98886-44-3	67-56-1	ノウハウのため非公開

4. 応急措置

4.1. 応急措置の記載

飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。

- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察／手当を受けること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師の診察／手当を受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察／手当を受けること。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合 : 医師に連絡すること。気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。

4.2. 最も重要な兆候及び症状 : データなし

4.3. 医師に対する特別な注意事項 : ホスチアゼートの解毒剤としては動物実験で硫酸アトロピン製剤の投与が有効であると報告されています。

5. 火災時の措置

- 5.1. 消火剤 : 粉末, 炭酸ガス, 泡消火剤
- 5.2. 特有の危険有害性 : 燃焼時、有毒ガス(SO_x, NO_x 等)が発生する。
- 5.3. 消火方法 : 小さな火災の場合は、粉末・炭酸ガス・泡消火器で消火を行い、消火活動は風上より行う。
大規模火災の場合は、乾燥砂、泡消火剤等を用いて空気を遮断する。
- 5.4. 消火を行う者の保護 : 消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行ない有害ガスの吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

- 6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 適切な保護具を着用する。
多量の場合は人を退避させ、周囲にロープを張り、関係者以外を立入禁止にする。
- 6.2. 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避ける。公共の水路・水源等に流出したときは、警察・水質関係官庁に知らせる。
- 6.3. 回収、中和、封じ込め及び浄化の方法 : 少量の場合は、土砂、ウエス等に吸着させて回収する。
大量の場合は、流出を土嚢等により止め、周辺にロープ等を張って火気を遠ざけると共に関係者以外は立入禁止として保護具を着用して回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 7.1. 取扱いの注意 : 医薬外用劇物であるので、毒物及び劇物取締法の定めに従って取り扱うこと。
危険物第4類第3石油類なので、消防法の定めに従って取り扱うこと。
熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
環境への放出を避けること。
皮膚、粘膜又は、着衣に触れたり眼に入らないようにすること。
取扱場所に、関係者以外の立入を禁止すること。

- 11.4. 感 作 性 : 皮膚感作性:皮膚感作性あり(モルモット)
呼吸器感作性:データなし
- 11.5. 変 異 原 性 : データなし(ホスチアゼートは陰性)
- 11.6. 発 がん 性 : データなし(ホスチアゼートは発がん性なし)
- 11.7. 生 殖 毒 性 : ホスチアゼート(区分 2)を 30.0%含むことから、区分 2 とした。
- 11.8. 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : ホスチアゼート(区分 1:神経系, 全身性)を 30.0%含有することから、区分 1(神経系, 全身性)とした。
- 11.9. 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : ホスチアゼート(区分 1:神経系, 副腎, 血液)を 30.0%含有することから、区分 1(神経系, 副腎, 血液)とした。
- 11.10. 吸引性呼吸器有害性 : データなし

12. 環境影響情報

- 12.1. 生 態 毒 性 : 水生環境有害性(急性)ニジマス LC₅₀ 68mg/L(96 時間)
オオミジンコ EC₅₀ 1.25mg/L(48 時間)
藻類 ErC₅₀ 32.9mg/L(72 時間)
水生環境有害性(長期間)
ホスチアゼート原体 オオミジンコ NOEC 0.06mg/L(21 日・繁殖性)
本混合物の成分 8.1%については水生環境慢性有害性が不明である。
- 12.2. 残留性・分解性 : データなし
- 12.3. 生 態 蓄 積 性 : データなし(ホスチアゼート:オクタノール/水分分配係数 log Pow = 1.68, 25°C)
- 12.4. 土壌中の移動性 : データなし
- 12.5. オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

- 内容物/容器は、国/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。
- 13.1 内容物の廃棄 : 焼却時、有害ガス(SO_x, NO_x)が発生するので、アルカリ吸収設備の備わった場所で法・条例に従って安全に処理する。
- 13.2 容器の廃棄 : 内容物を使い切った後、適切に処理する。

14. 輸送上の注意

- 14.1. 国際規制
- 国連番号 : 3018
- 国連分類 : 6
- 包装等級 : III
- 品 名 : Organophosphorus, pesticide, liquid, toxic (ホスチアゼート)
- 航空規制情報 : ICAO, IATA の規制に従う
- 海上規制情報 : IMDG Code の規制に従う
- 海洋汚染物質 : 該当
- 14.2. 国内規制
- 陸上規制情報 : 毒物及び劇物取締法および消防法の規制に従う
- 航空規制情報 : 航空法の規制に従う
- 海上規制情報 : 船舶安全法の規制に従う
- 14.3. 特別の安全対策 : 医薬用外劇物であるので、毒物及び劇物取締法の定めに従う。
危険物第4類第3石油類・引火性液体であり、消防法の定めに従う。
定められた密閉の容器に入れ、運搬に際しては、箱の落下損傷がないよう積み込み荷崩れの防止と水漏れや乱暴な取扱を避ける。

15. 適用法令

農薬取締法	:	農薬登録番号 第 22114 号
毒物及び劇物取締法	:	劇物(別表第 2 の 94 14-5, ホスチアゼートを含有する製剤)
消防法	:	危険物第 4 類 第 3 石油類(水溶性)
労働安全衛生法	:	第 57 条の 2(通知対象物質) メタノール(第 560 号)
化審法	:	優先評価化学物質 メタノール(第 90 号)
化管法	:	第 1 種指定化学物質 ホスチアゼート(第 54 号) 30.0% (代表分析値)
		第 2 種指定化学物質 該当しない

16. その他の情報

石原の農薬(石原産業株式会社)

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ

石原テレホン相談室

0120-1480-57(フリーダイヤル)

※石原バイオサイエンス(株)の全国の支店のうち、農家の皆様の最寄りの事業地にかかるようになっていきます。

公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話 (大 阪) 072-727-2499(情報料無料)

365 日 24 時間対応

(つくば) 029-852-9999(情報料無料)

365 日 9~21 時対応

中毒110番 医療機関専用有料電話 (大 阪) 072-726-9923(1 件 2000 円)

365 日 24 時間対応

(つくば) 029-851-9999(1 件 2000 円)

365 日 9~21 時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料1件につき 2000 円を徴収します。

この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253 に基づいて作成しています。

記載内容の取扱い

本 SDS の記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。